

平成21年度の就職動向と支援

1 大きく様変わりした企業の採用活動 売り手市場から買い手市場へ

2010年卒業予定者の就職活動・採用活動はここ数年間の状況と大きく様変わりしました。これまでは企業の採用意欲は明らかに上昇傾向にあり、前年より採用数を増やす企業が減らす企業を上回り、増やす企業の割合が年々増加してきました。しかしながら2008年末頃から景況感の深刻な悪化にともない、2009年卒採用者の内定取り消し、大手企業の採用数の大幅な減少または採用停止などが頻りに報道されました。企業の採用意欲は景気動向を鋭く反映し、この不況を背景に過熱していた人材獲得競争に一旦終止符が打たれた状況となりました。

このような採用動向は企業の採用活動はもとより学生の就職観にも大きな影響を与えることとなりました。

2 就職は厳しくなると認識 「安定志向」と「長く勤めたい」との意識が上昇

学生は就職活動のスタート時から就職環境に強い危機感を持ち「就職は前年よりかなり厳しくなる」と意識がこれまでと180度変わりました。これを反映し、学生の意識は安定した会社で長く勤めたいという堅実な考えが強くなったように感じます。

「安定志向」と「長く続けたい」を会社選びの軸として考える学生の増加は、いずれも近年の学生傾向に現れていましたが、厳しい景況感を受けて一段とその傾向が強まり、「不況に負けない安定した企業」＝「大手企業」という発想から大手志向の傾向が進んだように思えます。

また、安定志向という意識から公務員志望者も増加し、官庁、地方公共団体、警察、消防、独立行政法人等への志望者も増加しました。

3 企業の採用姿勢 これまで以上に厳選採用を徹底

企業の採用姿勢として厳選採用が前年以上に徹底され、内定率、内定社数が前年と比べ減少したことにより、企業は少ない採用枠の中で優秀な学生を確保することに注力し、厳選採用が行われたため、内定をもらえる学生となかなかもらえない学生との「二極化」がこれまで以上に顕著となりました。前年までは内定辞退を見越し多めに内定を出していましたが、今年は内定承諾を見込める志望度の高い学生のみに通ずるといった傾向が見えました。

このため学生は内々定を受けたらその段階で就職活動を終了し、他

の企業には挑戦しないという割合の増加が感じられました。学生は、入社先を決めて早く落ち着きたいとの気持ちが強くあり、大企業を希望していた学生が内々定の早かった中堅企業に内定を決めるといった事例もありました。

4 採用拡大から採用縮小へ 業界・業種の幅を広げた取り組み

これまで毎年数多くの本学学生が就職を希望し、内定者を輩出してきた人気の高い大手メーカー、すなわち自動車業界や電機業界など日本を代表するメーカーの業績が外需低迷で業績不振に陥り、採用抑制の傾向が他業界以上に強くあらわれました。そのため大手メーカーにパーツを供給する部品メーカーなどにも大きな影響を与え、メーカー全体での採用数は減少しました。

これらの業界にこだわり、業種や会社を絞りすぎた学生は、結果的に内々定を取れない状況が続き、就職活動を長期にわたって継続せざるを得なくなった事例も見られました。来年度も厳しい採用環境が想定されることから内定を勝ち取っていくためには、業界・業種の幅を広げる、企業規模の幅を広げるといったビジネスフィールドを広げた取り組みも必要とされることと見られます。

5 今年度の内定状況

以上のような厳しい採用環境の下、本学では例年以上に就職支援行事を増やし、就職課、学生サービスセンターおよび就職担当教員によるきめ細かい就職指導・支援(別表、就職・進学活動スケジュール参照)や卒業生等リクルーターによる積極的かつ親身な就職サポート等、学生の就職支援に全力を注いできました。

その結果、就職希望者における内定率は、文部科学省発表による大学卒業予定者の就職内定率62.5%(10月時点)の数字を大幅に上回り、それぞれ工学部80.1%、大学院工学部88.9%そして環境情報学部68.9%、大学院環境情報学研究科65.0%の実績を上げています。

なお、業種別の内定占有率の上位の業種は工学部・大学院工学研究科では輸送機器、電気機器、建築、精密機器、情報通信、機械となっております。環境情報学部・大学院環境情報学研究科では情報・通信業、サービス業、電気機器、サービス業、その他製造業となっております。

平成21年度主な就職内定先企業等 (平成21年12月1日現在)

※数値は就職内定者数

工学部・大学院工学研究科	
■輸送用機器	村田製作所……………1
スズキ……………5	リコー……………1
本田技研工業……………4	ローム……………1
トヨタ自動車……………2	富士通……………1
日野自動車……………2	日本IBM……………1
日産自動車……………1	古河電池……………1
■機械	■情報通信サービス
富士重工業……………2	NTT東日本……………4
小松製作所……………2	NTTデータ……………4
牧野フライス製作所……………1	日立ソフトウェアエンジニアリング3
■精密機器	みずほ情報総研……………3
キヤノン……………4	■電力
富士ゼロックス……………3	東京電力……………3
日立メディコ……………2	東北電力……………1
ニコン……………1	中部電力……………1
セイコーエプソン……………1	四国電力……………1
■電気機器	■運輸
日立製作所……………10	JR東日本……………10
三菱電機……………6	JR東海……………6
東芝……………4	東京地下鉄……………2
京セラ……………2	■建設
沖電気工業……………2	大和ハウス工業……………6
浜松ホトニクス……………2	大成建設……………5
シャープ……………1	大林組……………4

環境情報学部・大学院環境情報学研究科		
■電気機器	■有線放送	木下工務店……………2
日立製作所……………6	イツコミュニケーションズ……………1	パナホーム……………2
山武……………1	■サービス	鹿島建設……………1
沖電気工業……………1	セコム……………4	東急建設……………1
東芝……………1	ぐるなび……………2	住友林業……………1
三菱電機……………1	ヤフー……………1	協和エクシオ……………1
■精密機器	ドワンゴ……………1	積水ハウス……………1
キヤノン……………2	東急コミュニティー……………1	大和ハウス工業……………1
セイコーエプソン……………1	アジア航測……………1	■建設コンサル
■輸送用機器	■運輸	大日本コンサルタント……………1
本田技研工業……………1	JR東日本……………4	オリエンタルコンサルタンツ……………1
■その他製造	日本通運……………2	■小売
岡村製作所……………2	リコーロジスティクス……………2	セブンイレブン・ジャパン……………1
日本たばこ/JT……………1	JR北海道……………1	■その他
レンゴー……………1	京浜急行電鉄……………1	神奈川県警察……………2
日本無線……………1	東武鉄道……………1	横浜市役所……………1
■情報通信サービス	■広告	日本銀行……………1
CSKホールディングス……………4	JR東日本企画……………1	静岡銀行……………1
野村総合研究所……………3	■不動産管理	
NTTデータ……………3	東急リハパル……………1	
みずほ情報総研……………2	■宿泊	
コナミデジタルエンタテインメント……………1	星野リゾート……………1	
ソフトバンク……………1	■建設	
NTT東日本……………1	NECネットエスアイ……………2	